

#### (4) 厚木基地との災害対策等の取り組み

2011年（平成23年）3月の東日本大震災の発生など、市民の防災への関心の高まりや、災害時における自衛隊、米軍等との関わりなどが注目されています。災害対策等に関しては、大和市と厚木基地との間でも様々な取り組みが進められています。

##### ①消防に関する協定

1967年（昭和42年）1月30日、大和市長と米海軍厚木航空施設司令官との間で「相互消防援助協定」が締結され、その後1982年（昭和57年）6月30日には、在日米海軍横須賀基地司令官を加えて新たに「消防相互援助協定」が締結され、その後1987年（昭和62年）12月14日の三者による新たな締結を経て現在に至っています。この協定では、火災による災害時の消防活動等の相互援助について取り決めていきます。

##### ②災害対応準備及び災害救援の共同活動に関する覚書

2010年（平成22年）7月20日、大和市長と米海軍厚木航空施設ガードナー司令官（当時）との間で「災害対応準備及び災害救援の共同活動に関する大和市と米海軍厚木航空施設司令部との覚書」を交わしました。この覚書は、災害時などの救援活動や事前の対策（災害対応準備）について相互に支援協力し合うことを取り決めていきます。米海軍厚木航空施設では、災害時に備えた食料や水などを備蓄しているほか、災害用の様々な機材や設備を保有し、それらを扱う人材も揃っており、この覚書により、大和市の防災体制が充実することとなりました。



### ③大規模災害時等における派遣隊員の留守家族支援に関する協定

2016年（平成28年）6月28日、大木大和市長と海上自衛隊第4航空群二川司令（当時）との間で「大規模災害時等における派遣隊員の留守家族支援に関する協定」が締結されました。この協定では、大規模災害時等に現地に派遣される自衛隊員が、家族の保育や介護が必要となる場合、大和市から、必要となる保育や介護に関する情報提供や相互の調整窓口の設置、また、自衛隊が開設する臨時保育所の事前実地研修の実施などを取り決め、派遣隊員やその家族を支援するものです。



### ④大規模災害等に備えた各種訓練

厚木基地は、大規模災害発生時には医療搬送拠点として使用されることなども想定されており、日頃から国、県、米軍等により、様々な災害を想定した訓練が行われています。大和市も必要に応じ参加しているほか、大和市基地対策協議会でも訓練の視察等を行っています。



【厚木基地でのSCU訓練を視察】